

セ ボ ス

タガヤ
ランティア
ネットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2018.6 No.170

今月のトピック

特集●

「助けて」と言い合える社会をめざして ～子ども・若者に伝えたいメッセージ～

まちの市民力！ ● ふかさわの台所

● 世田谷ボランティアセンタースタッフ紹介



イラストレーション ● 柳原 梢子

考古学者を目指していたはずが、気づけばなぜかデザイナーに。博物館関係を中心に、いろいろな広告・冊子等のデザインをしています。

<http://yanagi-dou.com>

●わたしの世田谷

高校時代の3年間を世田谷で過ごしました。四季折々の自然豊かな通学路や、にぎやかで個性あふれる商店街を、ときどき懐かしく思い出します。

「助けて」と言い合える社会をめざして ～子ども・若者に伝えたいメッセージ～



自殺総合対策推進センターHPより

さまざまな自殺防止対策により、日本の自殺者数が徐々に減少傾向にある中で、高止まっているのが若者の自殺です。『自殺対策白書』によると、15歳～39歳の死因のトップになっています。生きるのがつらくなり、誰にも相談できないまま、子どもや若者がいのちを絶ててしまうという現実、私たちに何ができるでしょうか。

「悩んだときには『助けて』と言っていいんだよ」というメッセージを子どもたちに伝え、お互いに「助けて!」と言える、誰にとっても「生き心地のいい社会」をつくろうと取り組んでいる2つの事例をご紹介します。

生きてさえいれば
笑える日がくる

去る3月19日、三軒茶屋のしゃれなあじホールで「生笑（いきわら）一座」による公演がありました。元ホームレスの人たちがどんなお芝居をするのかと思っただけで済みました。座長の奥田知志さんは北九州市の教会の牧師さんであり、ホームレス支援のNPO団体の代表を務め、これまで3000人の人々を路上から脱出させたことで知られています。ホームレスの人々を路上生活から救い出す「プロフェッショナル」。

はるばる福岡県北九州市からやってきた一座のパフォーマンスでは、奥田さんが座員を紹介し、インタビュでつっこみます。仕事が行き詰まり、住む家や家族を失うという辛い経験、それでも空き缶を集めて野宿生活をサバイバル、奥田さんにしつこく声を掛けられて野宿から脱出…などの話を

語るの、数年前まで路上で生活していた当事者なので、そのリアリティは見ている側の心の底に食い込んでいきます。そして「ああ、生きていてよかった」という気持ちになりました。

実はこの一座、生きることについて詰められ「死にたい」と思う子どもたちに、死の危機を乗り越えてきた方が自分の経験から「生きていけるよ」と語れることがあるんじゃないかという思いから始まりました。今では全国の小学校や中学校からの公演依頼を受けて、一座が赴き、「生きる」授業を出張公演しています。

『ホームレスになる条件』が2つある。「住むところがない」そして『一度でも死にたいと思ったことがある』。2つめの条件を耳にすると子どもたちは身を乗り出す、といいます。「死にたい」とふと思ったことがある子どもと、目の前の「元ホームレス」のおじさんとの間がグッと縮まる瞬間で



写真／ホームページより引用

す。人生辛いことばかりで困った時、苦しい時に、「助けて」と言っているんだ、すると手を差し伸べてくれる人がいる。諦めていたのに自分のことを大切に思ってくれる人との新しい出会いが始まり、生き直しができる。おじさんたちは自分が体験したことを心の底からの言葉で、とつとつと語ります。「生きてさえいればいつか笑える日がくる」これが「生笑一座」の語源。この活動は厚生労働省の「自殺防止対策事業」の一環として助

成金を受けています。子どもたちに『助けて』と言っている」「『助けて』は恥ずかしいことではない」とメッセージを送り、子どもたちを死に追い詰めないための「生きる」プロジェクトです。

公演の最後には、参加者全員で振りをつけて「ひよっこりひょうたん島」を歌います。見ている私たちもあふれる「元氣」をもらいました。

追い込まれた末に

時を同じくして4月14日、チャイルドライン東京ネットワークによる公開講座『子ども・若者の自殺をどう防ぐ?』が開催されました。講師は「NPO法人自殺対策支援センター・ライフリンク」代表の清水康之さん。NHKの報道ディレクターをされていた時に、『クローズアップ現代』という番組で、親を自殺で亡くした子どもたちの取材をし、残された家族が

過酷な状況に追いやられている現状から、自殺対策を進めなくてはと思い、会社を辞めて「ライフリンク」を立ち上げました。

対策を立てるためには対象となるところで起きている問題を正確に見立てることが必要だと、清水さんはいくつかの具体例により自殺にいたる若者の実態を話され、自殺の原因や背景を明らかにしました。

例えば、小さい時から親からの虐待を受け、他者に対して信頼感を持ちづらく、期待して裏切られた時の恐怖もわかっているのに、あえて期待せずに相手を拒否してしまうケース。また、相談して状況が悪くなるくらいなら、相談してもいいことはない、と悪い意味で学習してしまい、大人になっても生活に支障をきたすような悩みを抱えても相談できなくなるケースなどがあります。「小さい時に子どもが相談してきたら、そのこと自体を褒めましょう」と清水さん

は言います。

自殺の実態調査では523人の自殺にいたるまでのプロセスが明らかにされました。「最後は『自殺』で終わりますが、注目してほしいのは『最後』ではなく、『最初』なのだという事です」自殺のきっかけとなる原因に注目すべきだと指摘します。

「失業・配置転換、事業不振、介護疲れ、子育ての悩み、身体疾患、親子間の不和……。これらは私たちの日常にあふれている問題で、それが悪化する中で自殺が起きています。瞬間的な行動だけ捉

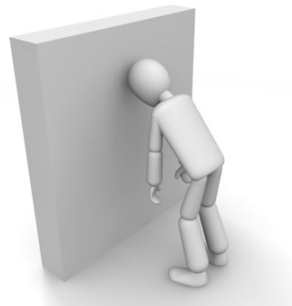


ライフリンク代表 清水康之さん

えると、主体的な行為として自らのいのちを絶っているようにみえますが、さまざまな抱えたくない問題を抱えてしまったことで、生きる条件が一気に奪われ、死ぬしかないという状況に陥って亡くなっているのです」と清水さんは話しました。

「生きろ」道を閉ざさない

29歳以下の若者が過去10年間で、一日平均10人亡くなる日本。若年世代の死亡原因を主要先進国と比較すると、自殺による死亡が日本は突出しています。家庭問題や学校問題、精神疾患などにより、この10年間で約3000人の中高生校生の自殺がありました。高校生までは、自殺リスクが高まると周りにいる学校の先生や親に気づいてももらいやすい状況にあっても、ひとたび学校を離れてしまうと、自らが助けを求めなければ「支援」にたどり着くことが難しくなりま



す。そこで、「この社会に生きる上でのいのち、生活を守るスキルとして、誰にどう助けを求めるか、SOSの出し方に関する教育を、学校とつながりがあるうちに子どもたちに伝えておかなければいけないのです」と清水さんは力説します。

日本の高校生は「自己肯定感が低い」ということは国際比較調査でも明らかになっています。アメリカ、中国、韓国など諸外国に比べて、『私は価値のある人間だと思う』『自分に満足している』と答える割合が低く、大きく下回っ

ています。就学前の子どもは『自分が好き』なのに、年を重ねるにしたがって自己肯定感が低下しているのが現状です。

「日本の社会は年を経るごとに自己肯定感を奪っていく環境になっています。自己肯定感、将来の夢、信頼できる人間関係などの『生きること』を支え促進する要因』よりも、『生きること』を阻害する要因』が上回った時に自殺リスクは高まります。だから自殺対策を考える時には阻害要因を取り除くと同時に、促進要因を育てていかななくてはなりません。『もう生きられない



い』『死ぬしかない』という状況に陥っている人が、それでも『生きられる』道を選ぶように支援する地域、社会をつくる必要がある。自殺対策は地域社会づくりなんです」と清水さんは話しました。

「いのち」を守るために

2016年に改正された「自殺対策基本法」は「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現をめざす」と目的が規定され、いのちや暮らしの危機に直面した時に誰かに助けを求めるための教育をすべての子どもたちが受けられるようにとの通知が都道府県、市町村の教育委員会に出されています。

「辛くなったり困ったら私のところに来てね、と言える人がSOSの出し方に関する授業をするのが重要なポイントです。自分を大切に、相手を大切にし、お互いに大切にしたいね。世の

中には信頼できる大人がいるから、大変な時はつらいと言っていないだよ、と伝えます」清水さんは学校での講演やワークショップでは名刺を配って、子どもの直接の窓口役を引き受けるそうです。

「新しいつながりが、新しい解決力を生む」とは、13年前の「ライフリンク」設立当初は理念でしたが、いまや確信となっています。一人ひとりが自分自身であることに満足しながら生きることのできる社会、『生き心地のいい社会』を築いていきたい」と清水さんはいます。

「助けて」と言えたことでホームレスを脱した人たちの「生笑いきわら一座」が身をもって伝えたいことと共通しています。子どもたちだけでなく、大人たちも、辛い時には「助けて!」とSOSを発することのできる環境づくりをめざす活動が広がっています。

(取材／編集委員 星野弥生)



みんなで食べるからおいしい

ふかさわの台所

まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



4月、深沢地区に「食」を通じて集えるコミュニティスペース「ふかさわの台所」がオープンしました。始めたのはご近所に住む成見さんご夫婦。成見敏晃さんにお話をうかがいました。

以前は仕事中心の生活で、地域との接点は特にありませんでした。しかし、子どもが生まれてから、周りに頼れる親や親戚がおらず、子育てには地域のつながりが大切だと気づきました。地域のつながりが生まれる場所があったらいいなと考えていたところ、去年4月に参加した講座で「観客からプレイヤーへ」というフレーズに共感。自分でやってみようと思い

たち、世田谷区と世田谷トラストまちづくりが主催する空き家ゼミナールで「ふかさわの台所」のプランを練り上げました。

その後、空き家活用の助成事業に採択されるとともに、「NPO法人せたがや子育てネット」を紹介され、日中は親子のつどいの場「おでかけひろばすぷーん」として開設することになりました。今年に入って、知人や周辺住民に呼びかけて物件改修のDIYを開始。多くの人々の手を借りてオープンに至りました。

具体的な運営はこれからですが、そのやり方について、成見さんはこのDIYを通じて考えが変

わったと言います。「タイルも施工業者に頼めば、きれいに早く完成します。でも、みんなにお願いすることで、団結して作業以上のつながりが生まれました。そこで運営についてもみんなに頼っていい」と考えるようになりました。

今後のアイデアとしては、「男の料理教室」「学生による子ども食堂」「高校生によるカレーキャラバン」など、いずれもひとりでは出てこないアイデアばかり。こちらがすべてを用意するのはなく、「食」をきっかけに、みんな楽しくなれる場をつくっていきたいと思っています。「みんなと相談することで、途中まで考えていたことが違う形で発展していくのがおもしろい」と言います。

具体的な利用方法などはこれからですが、多くの方々に利用してほしいとのこと。これからのような場になっていくか楽しみです。ぜひチェックしてみてください。

■「ふかさわの台所」(世田谷区深沢 2-15-3)

URL <https://www.facebook.com/fukasanodaidokoro/>

e-mail fukasanodaidokoro@gmail.com



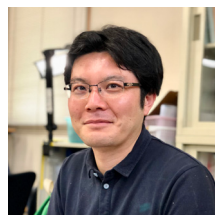
平島 義孝 ①区の受託事業「災害ボランティア受入体制整備事業」②皆さんと楽しくお酒を飲むこと。③自分が住んでいる町田。



植田 祐二 ①ボランティア市民活動推進部の縁の下での力持ち ②きゅうりダイエット ③山口生まれ。いい町です『やまぐち』へ、おいでませ。



青木 素美代 ①せたがやチャイルドライン事務局、ボランティア相談 ②アロマとライブ（クロマニヨンズがおススメ）③毎年春の遠足は鳥取砂丘。砂丘は夕焼けが最高



鈴木 佑輔 ①ボランティアコーディネーター・相談担当 ②最近、機関車トーマスを勉強中。③学生時代に何度も行ったインド。1年間過ごしたイギリスのカーディフ



高橋 亜弥子 ①災害担当として地域の防災活動に取り組んでいます。②旅！電車やバスに乗って、ゆっくり旅することにハマっています。③ビルマ（ミャンマー）で暮らしていました！



今後とも
どうぞよろしくお願いします！

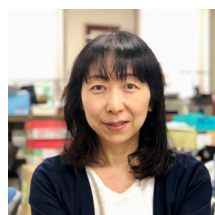


阿部 紀夫 ①組織全体に関する業務 ②映画を見ること。トレッキング！最高の景色に出会えます。③「横浜市鶴見区」小学3年生まで過ごしました。



柳 由美 ①「せたがや災害ボランティアセンター」災害担当 ②近所を散歩をしながら、防災まち歩きをしています。③中学生の時から住み続け、ついに勤務地にもなった下馬が故郷です。

-
- ①ボラセンで主にどんな仕事をしていますか？
- ②私がハマっていること、おすすめ
- ③私のふるさとエピソード
-



田中 里香 ①事務、議事録作成等 ②家族でするナポレオン（トランプゲーム）にハマっています。③温泉、おやき、心の美しい県民性。長野は良いところづくしです！！



宮崎 紘子 ①セボネ担当、NPO相談 ②あと数年で巣立っていくであろう息子2人の子育てを楽しむ毎日。③町田生まれ町田育ち。恩田川の桜並木が原風景。



近藤 浩紀 ①おたがいさまbank、facebook ページ運営 ②ジンバル。動画を撮るときに手振れを抑えてくれる機材で便利！ ③1年間語学留学したシドニー。毎日ピザ食べて7kg 太って帰国



今関 将弥 ①『リサイクル市（バザー）』や『いっしょに食べよう』など。②「PIT マニュアル」。YouTubeで見れますが警察マニア以外は何かとも思わないかも（笑）。③初台。イイところです。京王線万歳！



和田 優子 ①せたがやチャイルドライン事務局 ②ヨガです！ ③生まれたのは渋谷です。ハリウッド映画のシーンに使われる街になり驚きです。

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れています。
詳細は P10～15 をご覧ください。

気軽にボランティアの会
～先輩ボランティアの話を聞いてみよう～
6/30 (土) 13時～16時
代田ボランティアビューロー P15

●小田急線沿線

- ☆もみじの家ナイトボランティア募集 詳細 P10
- ☆成育医療研修センターボランティア募集説明会 詳細 P10
- ☆フリースクールのボランティア募集 詳細 P11
- ☆すまいるまつりボランティア募集 詳細 P11
- ☆80代女性のスポーツ教室での見守り募集 詳細 P12
- ☆授業時・休み時間の見守りしてくださる方(有償) 詳細 P13

せたがやチャイルドライン 受け手養成公開講座

5/25～7/27 全9回
世田谷ボランティアセンター P14

ナツボラ ～夏のボランティア体験～

7/1・8 (日) 11時～申込み受付開始
※申込み予備日 7/21, 26, 8/2
世田谷ボランティアセンター P15

家庭訪問型子育て支援(ホームスタート)

説明会・活動報告会

6/8 (金) 9時半～11時半

会場: 玉川区民会館 集会室

ホームスタート・ナオミ P15

ヒューマンライブラリー入門講座

6/23 (土) 15時～17時

会場: 玉川ボランティアビューロー

東京ヒューマンライブラリー協会 P13

おたが
さMAP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

発達障がいのある方を地域で
サポートするための学習会
6/22 (金) 13時半～16時45分
会場：烏山区民センター
玉川ボランティアビューロー P14

もっと語ろう不登校
6/9 (土) 14時～
人の泉・オープンスペース

●世田谷線沿線

★中1女子の登校付き添いボランティア募集 詳細 P10

ちとせ
ふなばし

ナツボラ・ジュニア
～小学生のボランティア～
6/30 (土) 11時～申込み
梅丘・代田・玉川の各ボラ

●東急線沿線

- | | |
|-----------------------------|--------|
| ☆シニア向けのスマホ指導ボランティア募集 | 詳細 P10 |
| ☆家事をサポートして下さる方募集 | 詳細 P11 |
| ☆トイレ介助ボランティア募集 | 詳細 P11 |
| ☆ポッチャを初心者に教えて下さる方募集 | 詳細 P11 |
| ☆保育園のお迎えをして下さる方募集 | 詳細 P12 |
| ☆小中学生の学習支援 学生ボランティア募集 | 詳細 P12 |
| ☆障がい者の地域生活サポート男性スタッフ募集 (有償) | 詳細 P12 |

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいあります。後に続く情報をマップにお
としたり、今月のあなたの『おたがいさ』を書き入れてみてはいかがでしょうか。
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご活用ください。

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

ボランティア求む

小 もみじの家ナイトボランティア募集 説明会

重い病気と家族のための医療型短期入所施設「もみじの家」では、ナイトボランティアとして一緒に支えていただける方を募集いたします。ボランティア説明会を開催しますので、ご希望の方はホームページに掲載している活動条件と活動内容をご覧ください、説明会にご出席ください。

- 日時／①6月21日(木) 18時～
②6月23日(土) 10時～
- 場所／国立成育医療研究センター

小 成育医療研究センターでのボランティア募集説明会

国立成育医療研究センターでボランティア募集を行います。主に小児が対象の医療機関で、外来ガイド、休日救急、病棟、シッティング、図書、シヨップ、園芸などを行っています。詳細はホームページをご覧ください。

説明会に参加される方は、電話またはFAXでお申し込みください。

「もみじの家」2階多目的室
交通／成城学園前駅よりバスで約10分

●募集人数／10名程度

●条件／「もみじの家」ホームページをご覧ください

●問合せ／もみじの家
担当 植田

TEL 5494・7135
monijiyo@nchd.go.jp
<http://home-from-home.jp>

●日時／6月27日(水) 13時半～16時

●場所／国立成育医療研究センター1階講堂

●条件／18歳以上で心身共に健康な方(但し学生、予備校生の方は原則不可) 要抗体価検査

●問合せ／国立成育医療研究センター ボランティアの会

TEL 3416・0181
FAX 3416・2222

東 シニア向けのスマホ指導ボランティア募集

シニアのためのパソコン教室を開設して15年のボランティアグループです。今まではパソコン講師が中心で活動してきました。

まったく初心者の方にも、繰り返してやさしくスマホの使い方を指導してくださる方を募集しています。

ボランティアですが交通費程度の御礼をお支払いします。スマホはアンドロイドでもアイフォーンどちらかでもいいです。

●日時／火曜日、金曜日 15時～17時(14時半集合)

●場所／キャロットタワー3階市民活動支援コーナー(会場の都合により二子玉川で活動することもあります)

●交通／三軒茶屋駅

●募集人数／1～2名

●条件／スマホをおしえるのが好きな50～70代の方、世田谷区在住の方。交通費程度支給

●問合せ／世田谷なかいしパソコン

090・5304・6151
zzynot@gmail.com

世 中1女子の登校付き添いボランティア募集

中学校1年生女子の、登校の付き添いをして下さる女性を求めています。朝、自宅に迎えに来ていただき、世田谷線山下駅から電車に乗り、下高井戸駅から学校までの付き添いをお願いします。

学校に行くことが大好きな女の子です。電車での移動等に関し、サポートをお願いします。子どもが好きて理解がある女性のボランティアを募集しています。

●日時／月曜、火曜、木曜、金曜 週1～2回でも助かります。

朝7時40分頃～(1回50分程度)

●交通／山下駅～下高井戸駅

●条件／女性。交通費(世田谷線運賃)は依頼者が負担します。

●問合せ／梅丘ボランティアビュー
100
TEL 3420・2520
umebora@otagaisama.or.jp

小京 フリースクールのボランティア募集

子どもたちの・若者の居場所、手づくりの育ちの場として23年運営してきました。平日の昼間勤務、子ども好きな方、夜間の事務作業ができる方を求めています。子どもとものづくり、料理、スポーツ、音楽、おでかけ、通信やホームページの編集管理など、お

手伝いいただける方募集中です。

●日時／ご相談

●場所／フリースクール僕んち

●交通／梅ヶ丘駅、東松原駅

●問合せ／NPO僕んち

担当 高橋

TEL 3327・7142

<http://npobokunchi.blogspot.jp/>

東 家事をサポートして下さる方募集

玉川地域にお住いの50代の女性、が、目の治療と怪我のため動くことが困難で日常生活に困っています。月に2回、週1回程度、自宅の掃除や洗濯、食事作りのサポートをして下さる方を求めています。詳しくはお問い合わせください。

●日時／平日で応相談

東 トイレ介助ボランティア募集

二子玉川のオフィスビルに勤務する車イスの20代男性が、昼休みのトイレ介助（パッド交換）のボランティアを探しています。複数名でサポートしていますが、火曜を担当していただける方を求めています。介助経験のない方も、まずはお問い合わせください。

●日時／火曜 12時40分～13時

●場所／自宅

●交通／東急東横線沿線。駅から徒歩10分程度

●募集人数／1名

●条件／60代までの女性

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 青木

TEL 5712・5101

aoki@otagaissama.or.jp

（頻度は応相談）

●場所／二子玉川駅徒歩2分のオフィスビル1階

●募集人数／1～2人

●条件／年齢・性別・資格不問。

●交通費応相談

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

東 ボッチャを初心者に教えて下さる方、探してます！

池尻、三宿地域で年齢や障害を問わず、スポーツを通して交流できる会をやろうと思っています。高齢者でも子どもでもできるスポーツのひとつとして、「ボッチャ」を体験したいと思っています。道具はありませんが、ご協力いただける方、ご興味のある方、ご連絡お待ちしております！

●日時／活動は月1回の予定です（日時ご相談）

●場所／池尻3丁目公園

●交通／池尻大橋駅徒歩10分程度

●条件／ボッチャの道具も提供していただけるとうりがあります。

●問合せ／池尻あんしんすこやかセンター 担当 河野、佐藤

TEL 5433・2512

ikiansuko@abox3.so-net.ne.jp

小 すまいるまつり ボランティア募集

身体障がい者の通所施設「すまいる梅丘」恒例のお祭りです。すまいる梅丘内で出店ブースでの販売や、パントマイムなどのパフォーマンスによる楽しい催し物を予定しています。

●ボランティア内容／①利用者の車椅子移動介助②おまつり当日の出店ブース内での補助
※移動介助については、施設にて事前に車椅子の押し方をレクチャー

●日時／6月8日（金）10時～14時

●場所／すまいる梅丘

●交通／梅ヶ丘駅徒歩5分

●問合せ／すまいる梅丘 担当 面上（めんじょう）

TEL 3425・5710

tommytomnaga@com.home.ne.jp

<http://umegakka.roukyou.gr.jp/>

gr.jp/

東 玉川地域で保育園からの迎えをしてくださる方募集

世田谷区玉川に住んでいる3歳の女の子を保育園から家まで送ってくださる方を探しています。体調が優れず、ご両親が保育園へお子さんを迎えに行くことが難しいため、火曜日の夕方、保育園から家まで送ってくださり、その後ご自宅ですばらくお子さんをみてくださる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。

●日時／火曜日、17時～18時30分
●場所／保育園から玉川のご自宅
●条件／女性
●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101

東 小中学生の学習支援

世田谷区社会福祉協議会・ぶらっとホーム世田谷では、小・中学生の学習支援をしてくださる大学生ボランティアを募集しています。

子どもが持つて来た学校の宿題やわからないところを理解出来るようにサポートし、学習の悩み解決に向けて一緒に取り組みます。またトランプをして遊んだり、おしゃべりしたり、月1回は食事会も行います。まずは「ボランティア入門研修」にご参加ください。(世田谷ボランティア協会と共同して、企画実施しています)

●研修日時／6月11日(月) 18時半～20時半
●研修場所／らぶらす研修室4階
●交通／三軒茶屋駅徒歩7分

学生ボランティア募集

●条件／子どもの学習支援に興味のある大学生
●申込み／電話またはメールで(件名「ボランティア入門研修」本文に名前、電話番号を記入)
●申込み締切／6月4日まで
●ボランティア日時／毎週火曜日(金曜日のうち週1回 17時～20時(但し、祝日等休みあり))
●活動場所／世田谷区内5ヶ所(三軒茶屋・経堂・深沢・成城学園・上北沢)
●条件／交通費相当額として1回1500円を支給。
●問合せ／世田谷区生活困窮者自立相談支援センター ぶらっとホーム世田谷
TEL 5431・5355
mailto:plat@setagayashinkyoo.or.jp

小 80代女性のスポーツ教室での見守り募集

梅丘にあるスポーツ施設の利用時の見守りをして下さる方を求めています。女性はこの施設に長い間通っていて、通うことが習慣になっており、身体を動かして筋力を鍛えることをずっと続けたいと希望しています。歩行に不安はありませんが、認知症のため発言に事実と違うことが混ざる可能性があります。認知症にある程度理解があり、発言に対して否定せずに対応していただける方を希望します。

●日時／週1回から2回(35分)
●場所／梅ヶ丘駅周辺
●募集人数／1～2名
●条件／女性希望。交通費応相談
●問合せ／梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420・2520

有償スタッフ募集

東 障害者の地域生活サポート 男性スタッフ募集

「障害があっても住み慣れた地域でともに生きること」という考えで主に下馬近辺で長年活動しています。自立生活をしている知的障害、身体障害のある方が介助者を求めています。

●介助内容は外出時の付き添い、車椅子移動、簡単な調理、食事介助、入浴介助、掃除など。詳しくはお気軽にお問い合わせください。メールでの問合せも歓迎です。

●日時／週1回程度から可能。日勤、夜勤(宿泊手当有)時間帯は相談に応じます。※他業種と

の掛け持ちの方も活躍中です。

●場所／三軒茶屋及び世田谷区内
●条件／50歳位迄の男性の方。
ヘルパー資格をお持ちの方優遇(無資格の方も取得助成制度有。ご相談ください)

●時給／1400円、研修期間中は1000円。交通費実費支給。
●問合せ／特定非営利活動法人ガチャパンとともに生きる会 担当 酒井
070・5563・1475
gatyapan@sdcion.ne.jp
http://www.gpace.jp/gatyapan/

小東 授業時や休み時間の見守りをしてくださる方募集

喜多見小学校で、授業時や休み時間の子どもの見守りくださる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。

- 日時／水曜日8時15分～13時半 木曜日8時15分～15時半の間の都合の良い時間
- 場所／喜多見小学校（喜多見 3・11・1）

講座・その他・募集

小 スペイン語と日本語でおしゃべりしませんか

VAMOS A HABLAR（パモスアアブラール）はスペイン語圏の方々と日本人との交流会です。日常生活上、日本語で不便を感じられたり、もっと日本のことを知りたいなと思われているスペイン語圏の方、お気軽にご参加ください。私達も、スペイン語やスペインの文化などを学びたいと思っています。アットホームな雰囲気、一度見学しませんか。

- 日時／月2回、月曜日 10時半～12時
- 場所／梅丘ボランティアアビュロー
- 交通／梅ヶ丘駅南口徒歩5分
- 対象／年齢・性別不問、日本人（スペイン語初心者可）も歓迎
- 参加費／無料（必要なコピー代等は自費）
- 問合せ／パモスアアブラール TEL 3795・1017 twkk7319@yodionne.jp

第36回全国ボランティア推進団体会議

世田谷ボランティア協会も世話役団体を務める「ボランティアズム推進団体会議」（通称民ボラ）は、ボランティアに市民活動を進めようとする団体・人々が集い、相互研鑽を進める場です。36回目となる今年は栃木県で開催します。今回のテーマは「排除」包摂とSDGs。分科会「相模原障がい者施設殺傷事件に対して私たちは何ができるか、何をすべきか」、「災害時要配慮者支援での民間ボ

ランティアズムとネットワークのあり方」等、詳しくはHPをご覧ください。

- 日時／6月30日（土）～7月1日（日）
- 場所／宇都宮大学
- 参加費／4000円（1日のみ参加2000円）
- 問合せ／認定NPO法人とぎボランティアネットワーク 028・622・0021 <https://www.tochiginet.com/>

東心のバリアを溶かす「ヒューマンライブラリー入門講座」

ヒューマンライブラリーは、デモンストラクで始まったもので、障がい者、ホームレス、セクシャルマイノリティなど、誤解や偏見を受けやすい人々が「本」になり、一般「読者」と対話をします。詳しく知りたい方、体験してみたい方、開催してみたい方などを対象に入門講座を開催します。

入門講座では、ヒューマンライブラリーとは何か、開催事例の紹介、疑似体験、参加の仕方などを説明します。ご不明の点は電話でお尋ねください。

- 日時／6月23日（土）15時～17時
- 場所／玉川ボランティアアビュロー
- 交通／二子玉川駅徒歩5分
- 募集人数／15名まで
- 参加費／500円（資料代）
- 申込み／メールでお申込みください（氏名・所属・年齢明記。事前予約制）
- 問合せ／東京ヒューマンライブラリー協会 担当 坪井 090・4751・6942 tsubojo12@gmail.com

京 京王線沿線
小 小田急線沿線

世 世田谷線沿線
東 東急線沿線

講座・その他・募集

京 発達障がいのある方を地域でサポートするための学習会 @ 烏山

世田谷区の担当者から、区の

障がいのとらえ方のお話を聞き、「発達障害者就労支援センターゆに（UN-）」のセンター長から、発達障がいについての講義を受け、当事者の方との交流を通して、さらに理解を深めましょう。

そして今後自分でできそうな、ちょっとしたフォローやボランティアがあれば、思いきって取り組んでみてください。

●日時／6月22日（金）13時半～16時45分

●場所／烏山区民センター 第4

世小 「もつと語ろう不登校 part 2（25）」

これまで23年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／6月9日（土）14時～

会議室

●交通／千歳烏山駅徒歩1分

●参加費／500円（資料代）

●定員／先着30名

●申込み／玉川ボランティアピュ
ーローまで電話、FAX、メ
ールにて（件名「発達サポート学
習会申込」）

●共催／世田谷区

●問合せ／玉川ボランティアピ
ューロー
TEL 3707・3528
FAX 3708・3058
tamaborae@otagaisama.or.jp

世小 「もつと語ろう不登校 part 2（25）」

●場所／人の泉・オーフンスペー
スBe！（赤堤1・15・13）

●参加費／300円（カンパ歓迎）

●交通／山下駅徒歩6分

●問合せ／世田谷こどもいのちの
ネットワーク第3分科会「もつ
と語ろう不登校」担当 佐藤
TEL 5300・5581

東 チャイルドライン公開講座2018

18才までの子どものための電話「チャイルドライン」の受け手を養成する研修の一環です。せたがやチャイルドラインの「聴く」を体感してみませんか。

子どもと直接かかわってきた講師たちが、子どもの声を聴くために役に立つお話やワークをしめます。子どもたちの声をそのまま、受けとめるということがどんなにおもしろく、むずかしく、奥が深いことか、実感していただけたらと思います。

5月～7月までの全9回の連続講座となっていますが、1回だけでもご参加いただけます。

●日時／講師／

*6月8日（金）19時～21時半

講義「思春期の性・男子の性
性のこと、話せますか？」

村瀬幸浩

*6月15日（金）19時～21時半

講義「手に入れたい。まなざし」
西野博之

*6月22日（金）19時～21時半

講義「遊びのチカラ・子どもの
今」天野秀昭

東 チャイルドライン公開講座2018

*6月29日（金）19時～21時半
ワーク「子どものことばに、ふ
れてみる」 田野浩美

*7月7日（土）15時～17時半

講義「子どもが置かれている現
状と関係機関の役割」 和田芳子

*7月13日（金）19時～21時半

講義「いじめと不登校」 経
験者の立場から」 須永祐慈

*7月27日（金）19時～21時半

ワーク「より良いコミュニケー
ションをめざして」コミュニケ
ーションの体験」 山本多賀子

●場所／世田谷ボランティアセン
ター

●交通／三軒茶屋駅徒歩12分

●参加費／1講座2000円
（学生半額）、別途テキスト代
1000円

●申込み／メールまたはFAX

●問合せ／せたがやチャイルド
ライン事務局

TEL 5712・5101

FAX 3410・3811

childline@otagaisama.or.jp

東 家庭訪問型子育て支援

説明会・活動報告会

玉川地域で、乳幼児のいる家庭への「家庭訪問型子育て支援（ホームスタート）」が始まりました。未就学児が1人でもいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が訪問するしくみです。

ホームスタートを利用したい方、ボランティアしてみたい方、興味がある方、ご参加をお待ちしています。

小 気軽にボランティアの会 ～先輩ボランティアの話を聞いてみよう～

～いつから？どう始める？～

地域デビュー～

今回で8回目となるこの会をきっかけに、たくさんの方がボランティア・地域活動への一歩を踏み出されています。先輩ボランティアさんの体験談を聞きながら、ご自分に合った活動を見つけてみませんか？はじめの一歩、まずは気軽にご参加ください。

《今回のゲストスピーカー》（先輩活動者）ウクレレボランティア、日本語を教えるボランティア、お仕事の資格を活かしたボランティア、発達障がいの方に寄り添うボランテ

- 日時／6月8日（金）9時半～11時半
- 場所／玉川区民会館 集会室B
- 参加費／無料
- 定員／40名
- 申込締切／6月4日（月）
- 問合せ／ホームスタート・ナオミ 080・9429・0493
- hsjnaomi@naominokai.or.jp

気軽にボランティアの会 ～先輩ボランティアの話を聞いてみよう～

- 日時／6月30日（土）13時～16時
- 場所／代田ボランティアビューロー2階（靴を脱いで上がるじゅうたん敷きのお部屋です）
- 交通／世田谷代田駅南すぐ
- 募集人数／8名
- 条件／ボランティア・地域活動に関心のある方などでも。
- 参加費／300円（資料代、茶菓代）
- 申込み・問合せ／代田ボランティアビューロー
- TEL 3419・4545
- daiabor@otagaisama.or.jp

ナツボラ・ジュニア 参加者募集

小学生向けの夏休みボランティア1日体験プログラムです。体験を通じて支えあいの心や、生きる力が育まれることをめざしています。ぜひご参加ください。

●対象／区内在住・在学の小学生とその保護者

●申込み／6月30日（土）11時～ボランティアビューロー窓口で受付開始（期間中の月曜～土曜

夏のボランティア体験「ナツボラ2018」

夏のボランティア体験プログラム「ナツボラ2018」、初めてのボランティアを応援します。詳しくはホームページをご覧ください。

●対象／区内在住・在学・在勤の中学生・30歳くらいまでの方

●申込受付日／7月1日、8日（日）11時～13時半（予約不要、必ず本人が来所、代理申込み不可。先着順。）

●申込予備日／7月21日（土）、26日（木）8月2日（木）12時半～13時半（要予約）

●オリエンテーション／申込日同日の14時半～17時

- 10時～16時半
- 参加費／1名500円（別途ボランティア保険代300円）
- 体験期間／7月21日（土）～8月31日（金）
- 受付・問合せ／各ボランティアビューローへ（月曜 祝日休館）
- TELは16ページのとり
- https://www.otagaisama.or.jp

- 受付会場／世田谷ボランティアセンター 2階
- 参加費／1200円（別途ボランティア保険代300円）
- 体験期間／7月20日（金）～8月31日（金）の間で3日程度
- 体験内容／保育園、プレパーク、高齢者施設、障がい者施設、NPO・NGO団体など
- ※活動プログラムは6月中旬からホームページにて公開予定
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター
- TEL 5712・5101
- https://www.otagaisama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

「発達障がいのある方を地域でサポートするための学習会」、「気軽にボランティアの会」、小学生向け「ナツボラジュニア」、中学生以上は「ナツボラ」、ボランティアの最初の一步を応援するプログラムにぜひご参加ください。

◆ふらっと&withより

5月はいきなり夏の暑さが来ました。幸いにも大きく体調を崩す人はなく過ごせました。6月はいよいよ梅雨突入。夏に向けての準備を少しずつしていきたいと思っています。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます!世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

毎週金曜日の夜、「受け手養成公開講座」が開講中です。受け手を目指す方、子育て中の方や子どもの問題に関心のある方にもご参加いただきたい内容満載です。講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』も好評発売中!

編集後記

■5月号の特集「AAミーティング(飲酒に問題を抱え回復しようとする人たちの自助グループ)」の記事を「読んだよ」と複数の方から反応いただきました。地域では定年退職後にアルコールの問題を抱えてしまう方もいるようです。子どもも若者も、高齢者も、誰もが孤立しないで相談できる場所が求められています。

■6月は虫歯予防月間。先日久しぶりに歯医者へ行くと、独特の匂いもせず、おしゃれな雰囲気。昔(昭和?)と変わったな。(み)

●発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811

●E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp

●ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>

●発行人
横山 康博

